

## 平成29年度研究科横断型教育プログラム（Aタイプ）授業科目

開講方式	Aタイプ (研究科 開講型)	研究科名	学際融合教育 研究推進センタ ー	カテゴリー	自然科学総合科目群	横断 区分	文理横断型				
授業科目名 (英訳)	グローバルヘルス通論 (英訳)Global health		講義担当者 所属・職名・ 氏名	グローバルヘルス学際融 合ユニット/医学研究科社 会疫学分野・教授・木原正 博、講師・Pilar Suguimoto, 助教・Patou Musumari Masika, 助教・Teeranee Techasrivichien		開講 場所	医学部先端科学 研究棟1階セミ ナー室				
配当 学年	修士1回 生以上	単位 数	2単位	開講年 度・開講 期	後期	曜時限	水3限 (13:00-14:30)	授業 形態	講義	使用 言語	英語
【授業の概要・目的】 この講義では、グローバルヘルスが現在直面する様々な健康問題とその変化を概観するが、同時に、人々の健康に地球規模で影響を与える、社会文化的、経済的、政治的、環境的要因に焦点を当てて解説する。また、成功事例のケーススタディを通して、どのような対策が有効であるかを検討する。講義には、さまざまな分野からスピーカーを招聘する。 【研究科横断型教育の概要・目的】 本科目は、学際融合教育研究推進センターの「グローバルヘルス学際融合ユニット」が提供する授業で、健康問題について幅広い視野／知識を持った学生を育成することを目的としている。健康は、人々の生存そのものであり、その向上には人類の総力を結集しなければならないことから、あらゆる学部、研究科の学生の受講を歓迎する。											
【到達目標】 グローバルヘルス問題への取り組みが、貧困の削減、経済力の強化、平和の促進に重要な役割を持つことを理解する。											
【授業計画と内容】 第1回 10月5日 はじめに:なぜグローバルヘルスを学ぶのか? 第2回 10月12日 教育、貧困、経済とグローバルヘルス 第3回 10月19日 倫理と人権とグローバルヘルス 第4回 10月26日 環境と健康 第5回 11月2日 栄養問題 第6回 11月9日 精神保健 第7回 11月16日 女性の健康 第8回 11月30日 子どもの健康 第9回 12月7日 感染性疾患 第10回 12月14日 非感染性疾患 第11回 12月21日 事故 第12回 1月4日 文化と健康 第13回 1月11日 自然災害と人為的災害 第14回 1月18日 科学技術とグローバルヘルス 第15回 1月25日 発表あるいは試験											
【履修要件】 予備知識は特に必要としない。英語での読み書き、討論ができること。											
【成績評価の方法・観点及び達成度】 -講義、グループワーク、討論、ケーススタディ -出席 (30%), 試験あるいは発表 (70%)											
【教科書】 特定の教科書は使用しないが、講義は、代表的な教科書の内容をカバーし、また、学術文献も必要に応じて使用する。											
【参考書等】 Richard Skolnik. Global Health 101 3rd Edition. Jones&Bartlett Learning, 2016(2017年度中に翻訳書が「グローバルヘルスー世界の健康の現状と展望」(仮題)として、木原正博、木原雅子監訳で、メディカル・サイエンス・インターナショナル社から出版予定。											

〔授業外学修(予習・復習)等〕

特になし

〔その他(授業外学習の指示・オフィスアワー等)〕

英語で学ぶことに、少なくとも十分な意欲を有していること。

連絡先:内線 4350